

アグリテクニカ 2015

紹介イベントを札幌で開催

ドイツ農業協会(DLG)が主催するアグリテクニカ2015が11月10〜14日(プレビューデーは8、9日)、ドイツ・ハノーバー市のハノーバーフォーラムイベント、30日(プレビューデー)品区分の展示配置で見や

その理由として最新の製品・技術が一堂に会す。その質量ともに世界一を標榜する。

そうした中、アグリテクニカプレビューイン札幌が京王プラザホテル札幌で7月16日に開催。当日はアルムト・シュミットが来日した。

農業機械・機器に関する展示会としては世界最大規模となる同展示会は、ここ10年で2倍の来場者88カ国45万人で出展社は47カ国2900社、出展規模25ホール40万平方

方に拡大。また前回のインベシヨニアワードには世界から400のエントリーが集まるなどトレンドの最先端を走っていることか

の開催規模は維持しながらDLG全体では拡大を続ける方向。来年は畜産主体のユーロティアや野外実演展示会DLGフェルターグの他、ワインやジュース、野菜、果物関連の技術が一堂に会すHORTITECHNICA(ホルテック)が並ぶかも。今はまだ詳細が出ていないけれど」とシュミットさん。

今回のトレンドについて「排ガス対策が一巡して電子制御やシステムコントロール、電子的技術などハードやソフト、マクロが並ぶかも。今はまだ詳細が出ていないけれど」とシュミットさん。

一方、国内からサーズを振り起こしたいンエイ工と話した。業などがイベント詳細はDLGサービス日本窓口(0153(74)9027)で、出展(の上村孝和氏まで。



アルムト担当マネージャーが開催概要を説明



I H I スターから出展機種の紹介が行われた



アルムト シュミット氏(左)と上村代表

アグリテクニカプレビュー

国際展示会の見所紹介

農業機械や機器および管理技術が集結する国際展示会「アグリテクニカ

2015(今年11月10日~14日)のオフイシャ

ニカ プレビュー イベント「アグリテクニカ」が7月16日、北海道札幌市内の京王プラザホテル札幌で行われた。

4回目を数える今回も、主催するドイツ農業協会(DLG)からDLGビ

ジターマーケティングチームのアルムト シュミット氏が来日。DLGサ

ービス日本サービス窓口のアクサプライ・上村孝和代表の進行で、見所などを紹介した。

1885年に設立したDLGは、現在会員数2万5500人。事業内容には情報発信や食品テスト、農業技術生産資材のテストと共に国際展示会の企画・運営の実施を掲げており、その一つがハ

ンプレビュー イベント「アグリテクニカ」が7月16日、北海道札幌市内の京王プラザホテル札幌で行われた。

4回目を数える今回も、主催するドイツ農業協会(DLG)からDLGビ

ジターマーケティングチームのアルムト シュミット氏が来日。DLGサ

ービス日本サービス窓口のアクサプライ・上村孝和代表の進行で、見所などを紹介した。

1885年に設立したDLGは、現在会員数2万5500人。事業内容には情報発信や食品テスト、農業技術生産資材のテストと共に国際展示会の企画・運営の実施を掲げており、その一つがハ

ンプレビュー イベント「アグリテクニカ」が7月16日、北海道札幌市内の京王プラザホテル札幌で行われた。

4回目を数える今回も、主催するドイツ農業協会(DLG)からDLGビ

ジターマーケティングチームのアルムト シュミット氏が来日。DLGサ

ービス日本サービス窓口のアクサプライ・上村孝和代表の進行で、見所などを紹介した。

1885年に設立したDLGは、現在会員数2万5500人。事業内容には情報発信や食品テスト、農業技術生産資材のテストと共に国際展示会の企画・運営の実施を掲げており、その一つがハ

ンプレビュー イベント「アグリテクニカ」が7月16日、北海道札幌市内の京王プラザホテル札幌で行われた。

4回目を数える今回も、主催するドイツ農業協会(DLG)からDLGビ

ジターマーケティングチームのアルムト シュミット氏が来日。DLGサ

ービス日本サービス窓口のアクサプライ・上村孝和代表の進行で、見所などを紹介した。

1885年に設立したDLGは、現在会員数2万5500人。事業内容には情報発信や食品テスト、農業技術生産資材のテストと共に国際展示会の企画・運営の実施を掲げており、その一つがハ

ンプレビュー イベント「アグリテクニカ」が7月16日、北海道札幌市内の京王プラザホテル札幌で行われた。

4回目を数える今回も、主催するドイツ農業協会(DLG)からDLGビ

ジターマーケティングチームのアルムト シュミット氏が来日。DLGサ

ービス日本サービス窓口のアクサプライ・上村孝和代表の進行で、見所などを紹介した。

1885年に設立したDLGは、現在会員数2万5500人。事業内容には情報発信や食品テスト、農業技術生産資材のテストと共に国際展示会の企画・運営の実施を掲げており、その一つがハ

ンプレビュー イベント「アグリテクニカ」が7月16日、北海道札幌市内の京王プラザホテル札幌で行われた。

4回目を数える今回も、主催するドイツ農業協会(DLG)からDLGビ

ジターマーケティングチームのアルムト シュミット氏が来日。DLGサ

ービス日本サービス窓口のアクサプライ・上村孝和代表の進行で、見所などを紹介した。

1885年に設立したDLGは、現在会員数2万5500人。事業内容には情報発信や食品テスト、農業技術生産資材のテストと共に国際展示会の企画・運営の実施を掲げており、その一つがハ

ンプレビュー イベント「アグリテクニカ」が7月16日、北海道札幌市内の京王プラザホテル札幌で行われた。

4回目を数える今回も、主催するドイツ農業協会(DLG)からDLGビ

ジターマーケティングチームのアルムト シュミット氏が来日。DLGサ

ービス日本サービス窓口のアクサプライ・上村孝和代表の進行で、見所などを紹介した。

1885年に設立したDLGは、現在会員数2万5500人。事業内容には情報発信や食品テスト、農業技術生産資材のテストと共に国際展示会の企画・運営の実施を掲げており、その一つがハ

参加という国際色豊かな展示会となっている。今回の「アグリテクニカ2015」では47カ国2900社の出展者がイノベーションを発表する。88カ国45万人の来場を見込んでおり、25ホール40万㎡の展示スペース、200のフォーラムが開催されるなど、世界屈指の規模で実施。7日間にわたり、趣向を凝らしたスペシャルイベントや会議、学会などを用意。出展者や専門団体が参加し、自らのほ場を解析し収量の把握などができる「デジタル クロップング」や、コム・大豆・綿花・サトウキビの4大作物に関する展示エリアやディスプレイションエに関する国際的なプラットフォームの紹介といった、単に展示機械を見るだけでなく、参加しながら最新の情報を得たり体

感でできる企画を豊富に用意していることなどを説明した。

最後に会場へのアクセスやハノーバー市について紹介したアルムト シュミット氏。日本から多くの来場者が会場にお越しになることをお待ちしておりますと述べた。

続いて北海道からの出展者を代表し、IHIS ターの浮須克弘海外営業部専門課長が自社の変遷、今回出展する小型ロールベアラ「MRB0850/0870」について、説明した(写真上)。「牧草ロールは400~500kgといったものが主流になっているが、東南アジアなどの地域では人手で運べるような小さいものもニーズがある。今回の出展では、ビジネスの側面からチャンスを探るのが大きなミッション」といった狙いも述べた。

北海協同組合通信

平成27年7月21日(火)第16240号

購読料：1ヵ年90,720円(消費税込) 日刊(土日祝日休刊)

☆アグリテクニカ2015に日本からの来場を・・・6

(ドイツ農業協会が札幌でプレビューイベント)

▽11月8～14日ドイツ・ハノーバー市で開催

▽約50カ国の2900社が農業機器など展示

◎アグリテクニカ2015に日本からの来場を

(ドイツ農業協会が札幌でプレビューイベント)

ドイツ農業協会(DLG)は16日、同国ハノーバー市で11月に開催される世界最大の農業機械展「アグリテクニカ2015」のオフィシャル・イベント「アグリテクニカプレビューイン札幌」を札幌の京王プラザホテルで開催した。出席した国内メディア・関係機関などの約20人を前に、今

回の開催概要を紹介したDLGのアルムト・シュミット氏は、「アグリテクニカを一人でも多くの人に体験してほしい。ドイツ・ハノーバーでお待ちしております」と話し、日本からの来場を呼び掛けた。

アグリテクニカは1985年から隔年で開催している農業機械・機器に関する世界最大の国際展示会。前回(2013年)の開催では世界47カ国から約2900社の出展があり、88カ国から約45万人の来場者(ドイツ国外から約10・7万人)を記録している。今回は11月8～14日(8、9日はプレビューデー)にハノーバー国際見本市会場で開催される。

展示プログラムは、約50カ国の2900社を超える出展者が、トラクタや各種作業機、生産資材、精密農業機器、再生エネルギー機器関連などの製品・イノベーションを発表する。前回を超える45万人以上の来場者が見込まれ、約40社もの広大な会場では、製品グループに応じて出展者を配置しているため、来場者の目的にあった展示を効率よく回ることができる。また、最新のテーマを取り上げたプレゼンテーション、セミナーなど200を超えるフォーラムイベントも行われる。

「アグリテクニカ2015」に関する問い合わせは、DLG日本サービス窓口(合同会社アグサプライ内・担当 上村、電話0153-74-9027、Eメール 上村 隆夫
t.nemura@hdp-farm.com) まで。

(浦 諒武)

